

令和7年度 第54回全国高等学校選抜バドミントン大会

東北地区予選会実施要項

主 催	東北バドミントン連盟	東北高等学校体育連盟
共 催	宮城県教育委員会	利府町教育委員会
後 援	(公財) 宮城県スポーツ協会	利府町体育協会
主 管	宮城県バドミントン協会	東北高等学校体育連盟バドミントン専門部 宮城県高等学校体育連盟バドミントン専門部

1 期 日

令和8年1月15日(木)～18日(日)

2 会 場

グランディ・21 宮城県総合運動公園総合体育館「セキスイハイムスーパーアリーナ」
〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1 TEL 022-356-1122

3 種 目

- (1) 団体戦(学校対抗) 男・女各県4チーム
- (2) 個人戦(個人対抗) 男・女各県2複2単

4 競技規則

- (1) 令和7年度 (公財) 日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程による。
- (2) 令和7年度 (公財) 日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程に指定してある用具並びに第1種検定合格品を使用する。

5 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
- (2) 監督・コーチは校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

6 競技方法

- (1) 学校対抗及び個人対抗は、トーナメント方式により優勝を決定する。
- (2) 学校対抗は、2複3単で行い、試合順序はダブルス1・ダブルス2・シングルス1・シングルス2・シングルス3で実施する。なお、シングルス1出場者以外は、ダブルスとシングルス兼ねて出場することができる。
- (3) 1対抗戦は3マッチ先取で勝敗を決定する。
- (4) 監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、監督会議時に所定の変更届出用紙で大会事務局に提出すること。但し、追加は認めない。
- (5) 変更の提出は監督会議までとし、それ以外はいかなる場合も認めない。
個人対抗の選手の変更はいかなる場合も認めない。

7 編 成

学校対抗は、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー1 名、選手 5 名以上 7 名以内とする。但し、マネージャーが生徒の場合は選手を兼ねることができる。また、5 名を欠いた場合はチームとして認めない。(同一校で男女出場する場合は、別の監督をつけること。)

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒で、各県高等学校体育連盟に加盟し、当該競技要項により当大会の参加資格を得たものとする。
- (2) 監督・コーチ・選手・マネージャーは、(公財)日本バドミントン協会に令和 5 年度会員登録を完了した者とする。
- (3) 年齢は、平成 19 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、1・2 学年に在籍している者とする。但し、出場は同一競技 2 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程及び本校と分校の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後 6 ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住等やむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技 2 回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校・高等専門学校・専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校選抜大会開催基準要項を遵守し、本大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する費用については応分の負担をすること。

9 参加申込

※ 個人情報の取り扱いについて

大会参加に際しては、提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込方法

- ア 各校は各県委員長に、参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて申し込む。
- イ 各県委員長は各県分をまとめ、大会事務局に申し込む。その際、各県参加一覧表と組み合わせ表（氏名記入）、参加料一覧表をメール送信すること。
また、参加料は東北委員長会議にて支払う事。

メールアドレス : habu.ryo@seiwa.ac.jp

(2) 申込締切 令和7年12月5日（金）必着

(3) 申 込 先 〒984-0047

宮城県仙台市若林区木ノ下3-4-1

聖和学園高等学校 土生 諒 宛

TEL 022-257-7777

FAX 022-257-1484

10 参加料

- (1) 学校対抗 1チーム 28,000円
- (2) 個人対抗 単 2,500円 複 5,000円

11 宿 泊

別紙宿泊要項を参照の上、当該校で宿泊申込書に記入し、宿泊斡旋事務局へ送付すること。

12 表 彰

男女とも学校対抗、個人単・複ともに3位まで表彰する。

13 監督会議

監督会議は1月15日（木）11:30にグランディ・21宮城県総合運動公園総合体育館「セキスイハイムスーパーアリーナ」1F視聴覚室で行います。

14 組合せ

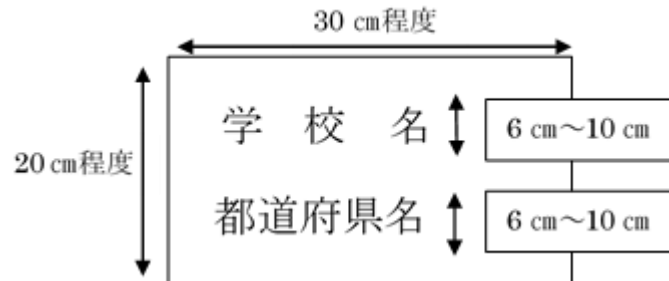
令和7年12月の東北高体連バドミントン専門部委員長会議で決定する。

15 連絡事項

- (1) 練習は1月15日（木）11:00～12:00まで割り当てます
開会式は1月15日（木）12:30にグランディ・21宮城県総合運動公園総合体育館「セキスイハイムスーパーアリーナ」で行います。
- (2) 選手の変更は、学校対抗のみに限り、監督会議に提出できます。
- (3) 水分補給は必ず蓋付きの容器を使用すること。
- (4) 服 装
 - ア 競技時の服装は、色付きの着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とする。
 - イ 上衣の背面中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に

鮮明に映えるものとする。目立たない場合には、ゼッケンをつけてもらう場合もある。ウェアの表示については、一部（公財）全国高体連バドミントン専門部独自の申し合わせ事項を加える。文字列の大きさは、高さ 6cm～10cm とし、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第 24 条による。【上段：学校名、下段：都道府県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦 20cm 程度、横 30cm 程度の大きさを基準とする。（ゼッケンの場合の文字の色は、黒い色または濃紺色とする。）

（例）



16 その他

第 54 回全国高等学校選抜バドミントン大会への東北ブロックからの出場校数は、学校対抗は各県 1 校、個人対抗は単 4・複 4（ただし同一県 2 単・2 複を上限、同校可）とする。